



みんなで、智恵を出し合い、明日を語る生徒総会



18日(木)、生徒総会が開催されました。昨年まではクラス代表による代議員制でしたが、今回は生徒全員が体育館に集まり、「クラスの団結を高める文化祭を目指して」「学校の環境をより良くする」の2大テーマで意見交換を行いました。

生徒会役員が企画や運営を担い、ぎごちない面もありましたが、「自分達で学校生活をより充実させるには」を真剣に考える良い機会になりました。最後に、校長先生は、「生徒総会で考えた課題には、明快な正解はありません。

みんなが思いや考えを持ち寄って、答えを作りだし、実行した結果を踏まえて、更により良い答えを求めていくプロセスが大事です。これからの社会は、このような対話や協働する力が求められます。」と締めくくられました。



”地域社会の一員としての振る舞い”

毎月1日、15日の朝の一斉街頭指導に併せて、生徒会役員有志が湯浅駅から学校までを、ごみ拾いをしながら登校しています。

また、先日、町内の方から「ユニフォーム姿の男子生徒がビニール袋をもってごみ拾いをしてくれた。元気に挨拶もしてくれ、とても嬉しかった」とお礼の電話を頂きました。

地域の一員としての、さりげない振る舞いが、注目され、評価されています。



”沖縄を満喫した修学旅行”

1年生は、3日(水)～5日(金)2泊3日で、沖縄修学旅行に行ってきました。

◎1日目は平和学習が中心で、語り部の中村功さんから、71年前の沖縄戦での体験と平和への思いをお話し頂きました。その後、戦闘で日本軍が立てこもった山城本部、マヤ、アンテラ及び轟の壕(ガマ)を見学しました。「戦争は人間同士が殺し合う。この現実を見てしまうと、まるで人間が人間でなくなってしまう。」という言葉が耳に残り、あらためて平和やの有り難さや、人の命の重さを実感しました。

◎2日目は天候に恵まれ、午前中はクラス別に、海でのシュノーケルやシーカヤック、琉球グラス作り体験、午後は美ら海水族館の見学、夕食後は沖縄アクターズスクールの生徒たちとダンス交流等を行い、盛り沢山の楽しい一日となりました。

◎3日目はあいにくの雨模様となりましたが、グループ毎にタクシーで沖縄の名所を巡りました。

ややタイトな行程でしたが、耐久生らしく、学ぶところは学び、楽しむところは楽しんで、心配りを忘れない、”よき思い出の修学旅行”となりました。



”耐久教育の神髄に学ぶ教職員研修”

24日(水)、地域の歴史文化、特に“濱口梧陵翁”の第一人者として高名な垣内貞湯浅町教育長から、翁の生き様や社会への貢献、濱口家の家訓や訓育方針等について、講話していただきました。耐久高校の教員としての誇りと責務の重さを、身にしみて実感した研修となりました。



”より良い授業を目指して研鑽を深める”

65分授業やICT整備が行われた今年度、教員の授業改善への取組がずいぶん進みました。この1年間の成果と、次年度に向けた改善点を明確にするため、2月、全教員による研究授業を再度、行いました。「1.生徒のアクティブ度」「2.スピーディーで、レベルアップした授業作り」等のポイントで検証を行いました。65分授業は、4月から2年目に入ります。日々の授業が充実している耐久高校を目指し、生徒も先生も切磋琢磨を続けます。



化学の「演示実験」



家庭の「調理実習」



漢文のグループ学習

3月予定



- 1日 卒業式
- 2日～8日 学年末考査
- 13日～27日 アメリカ姉妹校短期留学
- 15日 1年防災スクール
- 17日 特別活動体験発表会
- 24日 修了式